

令和7年度 太陽の丘グループホーム第4事業所地域連携推進会議 会議録

- 1 日 時 令和7年9月9日（火） 14時00分～16時00
- 2 場 所 社会福祉法人あしたか太陽の丘本館4階大会議室 グループホーム事務所他
- 3 出席者 4名（地域の関係者等 利用者代表 利用者の家族代表 施設長）

4 会議等経過

(1) 事業報告

施設長が事業報告書及び別添資料を基に、内容を報告する。

(2) 施設見学

グループホームを見学する。

5 質疑応答、要望等

【事業報告関係】

地域関係者 利用者支援において、手厚い支援をするためには国の示す人数では足りないのではないかと感じた。

支援に慣れた方や経験豊富な職員だけではなく、若い方に積極的に働いてくれる方策があるとよい。

高齢な方が一部利用していた。そうした方の今後を考えた時にどのような対応が必要なのかを見据えていただきたい。

事業報告書の25頁に在宅生活移行者とあるがどういう方か。

施設長 自立して一人暮らしを始めた方や家庭に戻った方が含まれている。昨年度は家庭に戻った方が3名だった。

地域関係者 障害支援区分が高い方や療育手帳A所持者、身体障害者手帳1級所持者が入居されているが夜間の支援はどうか。

施設長 日常的に支援を多く必要とされる方は、夜間専門員が配置されている第3事業所のコミュート浮島を利用している。コミュート浮島以外は夜間支援者が不在だが、不在でも問題が無いかどうかを検討した上で利用してもらっている。スタッフが24時間体制ではないことに不安を抱えていた利用者やご家族の方が、24時間体制のグループホームへ移行していったというケースが過去にあった。

【施設見学関係】

地域関係者 地域の方によるグループホーム利用者の受け止め方はどうか。

- 施設長                    グループホームの運営には地域の方との関係性が重要だと考えている。そのため、積極的に挨拶をしたり、地域の防災訓練や清掃活動などへ参加したりし、地域の方と良好な関係が構築できるよう日々心掛けている。
- 利用者代表              職場の近くで火災があり怖い思いをした。グループホームでは火事を起こさないように気をつけている。
- 施設長                    グループホームでは毎月一回、火事や地震に対する避難訓練と火災予防の点検を実施している。火事や地震が実際に発生した際、どのような行動を取ればよいのか確認している。火災予防としては、コンセント差込口に埃が付着していないか、たこ足配線になっていなかなどを点検している。
- 利用者家族代表          今回初めてグループホームで虐待があったことを知った。この会議に参加しなければ知ることが無かったので、知る機会が欲しい。
- 施設長                    虐待のことはご心配をおかけし申し訳なかった。今後虐待があった場合、法人としてどのように公表していくのか検討していく。

以上